

特集



## 多様な住宅金融

環境、教育、経済、人口など、日本には多くの社会的課題があります。そして、ただそれらの課題を静観しているだけでなく、関係機関による様々な対応が行われています。

世の中の変化を受け、住宅金融の分野でも様々な制度、商品が誕生しています。少子高齢化や、環境破壊が叫ばれている現在では、子どもの数に応じて金利を引き下げる、環境に配慮した等の一定の条件をクリアすると金利を優遇する住宅ローン商品も存在します。

住宅金融支援機構では、「住宅融資保険を活用したリバースモーゲージ型住宅ローン」や、省エネルギー性能等を兼ね備えた質の高い住宅を取得される際にご利用いただける「【フラット35】S」を取り扱っています。

本号では、「多様な住宅金融」という特集を組みました。「証券」や「銀行」に関わる方々より、それぞれの観点で最新の取組や国内外の情勢についてご執筆いただきました。

### Contents

01

グリーンボンドと住宅金融の接点

～省エネ住宅の先にある気候変動と環境問題～

新生証券株式会社 調査部長 チーフストラテジスト 江川 由紀雄

20

02

リバースモーゲージ型住宅ローン最前線！

～りそな銀行北浜ローンプラザの挑戦～

りそな銀行 北浜ローンプラザ部長 渡邊 昌嗣

28